

收受年月日	議長	事務局長	書記
5.8./			
第 48 号			



令和5年8月1日

埴町議会議長 割貝 寿一 様

経済常任委員会委員長 七 宮 広 樹



### 所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第77条の規定により報告する。

### 記

1 調査事件 防災倉庫の状況と防災備蓄品の管理について

2 調査の経緯

本委員会は、防災倉庫の状況と防災備蓄品の管理について、担当課長及び職員からの聞き取り調査を行った。

調査日：令和5年7月13日（木）

出席委員：七宮広樹、鈴木元久、鈴木 茂、吉田広明、金澤太郎、割貝寿一

説明員：生活環境課長、生活安全係長

職務出席者：議会事務局長、書記

場 所：委員会室及び現地（防災倉庫）

3 調査の結果

生活環境課より B&G 財団の「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業」の詳細と、職員・消防団員の研修内容について説明を受けた。

事業期間は令和4年度から6年度に行われ、旧常豊小学校校庭に防災倉庫1棟・平屋建て(工事費759万円・設計管理費837,832円)を建設した。また、備品整備としてB&G財団から、油圧ショベル2台・スライドダンプ2台・救助艇6艘(うち小型船外機付2艘)が支給され、その他の防災備品として、蓄電池・蓄電池用ソーラーパネル・ボックスウォール・救命胴衣・毛布・タワー型照明・バルーン型投光器・貨物自動車・スライドダンプ用タイヤ・テント・テーブル・収納棚、12品目(12,153,379円)を購入した。

令和5年度は、大型炊き出し器セット・災害充電器用マルチチャージャー・クイックシェルター・段ボール製パーテーション・段ボール製ベッド・折り畳

み式ベッド6品目(1,224,300円)を購入し、防災備品の充実を図り、迅速かつ効果的な活動を行うため、重機等の機材を活用した人材育成研修を計画し、職員の研修は終了している。更には消防団員の研修と救助艇操作研修・社会福祉協議会の炊き出し訓練・避難所開設訓練が予定されている。

令和6年度も同様の研修が計画され、総額最大5,400万円の事業について把握した。その後、防災倉庫に移動し、重機と防災備品で管理状況を確認した。各委員からは、令和6年度以降も研修の継続を始め、重機の有効活用・更なる防災施設拠点の充実・緊急メディカルセット箱の用意・災害ゴミ置き場の再検討・防災倉庫のセキュリティ化・常に使える体制づくりの意見が出た。

近年の温暖化による異常気象で、集中豪雨災害や予測不能な天災に見舞われる恐れがあるため、この度のB&G財団の事業は町の支出も無く、防災意識を高める取り組みの一環としても認識した。

#### 4 委員報告書

別紙のとおり

議員派遣  
委員派遣

調査研修等報告

收受年月日	委員長	事務局長	書記
5・7・20	書	号	式1

令和 5 年 7 月 20 日

議会議長

委員会委員長

様



提出者 鈴木元久

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和5年7月13日(木) 午後1時30分～	派遣先 (場所)	委員会室及び 現地(防災倉庫)
内容	第1 防災倉庫の状況と防災備品の管理について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>・ 調査のまとめ 事業主旨</p> <p>・ B&amp;G財団の「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業」を活用し、整備、職員、消防団員の研修を令和4年度から6年度に実施が予定であるが個人的、団体的に反復演練し務得が、必要ではないかと思われた特に油圧ショベル(ダンプ付きショベル)</p> <p>防災倉庫建設では工事費759万円、旧常盤小学校校庭に建設されていた、油圧ショベル2台、スライドダンプ2台(未支給)救助延6艘、その他蓄電池8台、ソーラパネル、救命胴衣、77型照明、バルーン型投光器、貨物自動車等(約1215万円)を視察したが、万が一に備えた備品等の運搬運用が出来るように訓練等が不可欠ではないかと思えた。</p> <p>8月に配備機材を活用した拠点研修、避難所研修が実施される。又令和6年度も予定が入っているが自分の切として身に付けてほしいと願っています。</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
5・7・19			
第 号			

様式 1

経済常任  
委員会委員長七宮広樹様



提出者 鈴木茂

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査報告書		
派遣の 日時	令和 5 年 7 月 13 日 (木) 午後 1 時 30 分	派遣先 (場所)	委員会室及び現地 (防災倉庫)
内容	<p>第 1 防災倉庫の状況と防災備蓄品の管理について</p> <p>B&amp;G 財団の「防災拠点の設備及び災害時相互支援体制構築事業」を活用し備品、整備、職員、消防団員の研修を実施する事業主旨であると担当課職員より説明を受けた。事業は令和 4 年度から実施となり町は旧常豊小学校校庭に防災倉庫を建設(工事費 759 万円 監理設計費 約 84 万円)した。その他防災備品(12、153、379 円)を購入した。内容は財団から現物支給(油圧ショベル 2 台、スライドダンプ 2 台、救助てい 6 そう)品と蓄電池、ソーラーパネル、ボックスウォール、救命胴衣、タワー照明など 12 品目である。目的は災害発生時に重機を活用して対応するため、合わせてそのための人材育成をすることである又研修は 3 年間に渡って指定された内容に従って行うということである。説明の後現地に行き現物を視察しました。</p> <p>所見 防災備品が全て整備され準備は万全であるが簡易な研修だけでは災害現場での対応は難しいのではないかと思う。又災害はたびたび起こるものではなくショベルなどは宝の持ちぐさになるのではないかと思う B&amp;G 財団の許可をもらい他に有効活用すべきである。</p>		

議員派遣  
委員派遣

# 調査研修等報告書

收受年月日	委員長	事務局長	書記
5.7.20	様式1		
書第	号		

令和5年7月20日



七宮 広樹 経済常任委員長

提出者 吉田 広明

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会事務調査報告書		
派遣の 日時	令和5年7月13日	派遣先 (場所)	委員会室及び防災倉庫
内容	防災倉庫の現状と防災備蓄品の管理について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>B&amp;G財団より令和4年から令和6年の3ヵ年間で100%の支援金として5、400万円の交付を受ける事業である。現在、防災倉庫建築と防災備品の購入は済んでいるが、現物支給のスライドダンプは納入されていない。研修費も支援金に含まれており、職員研修、消防団員研修、炊き出し訓練、避難所開設訓練などは、実施又は実施見込み予定となっている。B&amp;G財団主催の研修では、職員2名を派遣し、7月5日に相馬市で行われた。令和5年度に配備備品購入で8月中に納品を予定している大型炊き出し器セット80人分、目隠しシエルター、段ボールベットなどを用意し、緊急時の対応を図っている。意見としては、「台風19号の教訓で、被災ゴミの置き場を再検討した方が良い。」、「防災倉庫は無人で高額の重機なども保管しており、盗難の恐れがあるので、警備会社の契約も必要なのではないか。」、「救援時に切り傷などの手当てをするために、緊急メディカルセット箱の用意も必要ではないか」などの意見もあった。救助艇研修や広域・拠点研修、機材の取扱い研修など多岐に及ぶが、装備の安全な運用に努めて頂きたい。</p> <p>近年の温暖化による異常気象で、集中豪雨災害や予測不可能な天災に見舞われる恐れがあるため、防災施設拠点の充実は重要になってくる。</p>		

收受年月日	委員長	事務局長	書記
5.7.27			
書	号	様式	

議員派遣  
委員派遣

調査研修等報告

令和5年7月27日

議会議長  
委員会委員長

様



提出者 金澤 太郎

派遣目的 (調査等 名称)	経済常任委員会所管事務調査		
派遣の 日時	令和5年 7月13日 13時30分より	派遣先 (場所)	委員会室及び 現地 (防災倉庫)
内容	防災倉庫の状況と防災備蓄品の管理について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	防砂倉庫備品の導入状況は、資材不足によるスライドダンプが遅れて		
	いるようだが、発注は完了しているとのこと。発災前に納品されること		
	を期待する。		
	現地を確認したが、整理整頓がされており、保管状態はおおむね良好		
	ととれたが、備品ラックが固定されていなかった。地震によるラックの		
	倒れ等を考慮して、重量物を下段に置いているが、本来であれば、ラック		
	を固定すべきである。早急に対応されることを願う。		
	発災時の一次対応には是非備えておくべきものと思う。導入初期の現在		
	は講習会等もきちんと実施されているが、今後も継続して講習会等を行い		
常に使えるような体制づくりが継続されるか注視していきたい。			
以上			

收受年月日	委員長	事務局長	書記
5.8./		議員派遣 委員派遣	
第 号			

様式 1

調査研修等報告書

令和 5 年 8 月 / 日

議会議長  
委員会委員長 様



提出者 利貝新

派遣目的 (調査等 名称)	経済第1委員会新管事務調査		
派遣の 日時	令和5年7月13日	派遣先 (場所)	委員会室及び現地
内容	防災倉庫の状況と防災備蓄品の管理について		
派遣 結果 (意見 及び 感想)	<p>(1) 常盤小学校の校庭に1棟平屋建て(88.57㎡)防災倉庫があり、油圧ポンプ2台、救助艇、蓄電池等 納められスライドドア2台は未支給と なっていた。</p> <p>B&amp;F財団より令和4年度から6年度まで事業期間の支援を受けられ、その後は重機、車両等の維持、管理は自己負担となる。</p> <p>事業内容において研修要件をクリアする必要があり職員及び消防団員の負担とらなければならぬ。</p> <p>バックホウ、スライドドア、その他の備品の利活用が広範囲にできればと思えた。</p>		